

中学生に向けた鞍手高等学校ホームページ作成

Creating a Kurate high school Website for

Junior high school students

福岡県立鞍手高等学校普通科

金田 未琴 安藤 早紀 能美 辰臯 山下 真輝

入江 安宥 森 美月 井上 竜成 栗田 亜彩斗 添田 匠真 時津 慶

指導教員 河内 和美

要旨

ホームページの成り立ちについて理解し、HTML 言語について学習した。対象を中学生に絞り、鞍手高校のホームページの新しいコンテンツを考察した。それらをネットワーク管理やデザインの観点からコンテンツの見直しを行い、パワーポイントでホームページデザインを行った。今後は、これらのコンテンツを HTML 化し、実際にアップロードできるようにしていきたい。

1. はじめに

現在、少子高齢化が進み、中学生の人数が減っている。鞍手高校の良さをアピールし、中学生が興味をもてるようなホームページの作成を通して、HTML 言語の習得とホームページのあり方について研究することにした。

2. ホームページについて

2-1. ホームページとは

インターネットで使われるWWW (ワールド・ワイド・ウェブ world wide web) システムに提示する画面をホームページという。ユーザーがWWWのブラウザ(閲覧ソフトウェア)で、あるホームページのアドレス(URL)を指定すると、表示される。^[1]URLの最後には「.htm」や「.html」という表記がよく見られるが、これはそのホームページが、主にHTML形式のファイルで作られていることを表している。このHTMLファイルの中には、画像や動画、音声などのマルチメディア情報を指定することができ、これにより、ホームページ上で多彩で動きのあるコンテンツを利用することができるようになる。^[2]

・2-2. HTMLとは

Hyper Text Markup Language (ハイパーテキスト・マークアップ・ランゲージ)の略で、Webページを作るための最も基本的なプログラム言語のひとつである。基本的に、私たちが見ているホームページのほとんどは、HTMLで作られている。

HyperText Markup Languageを日本語で表すなら、「ハイパーテキストに目印をつける言語」というような意味になる。ハイパーテキストとは、ハイパーリンクを埋め込むことができる高機能なテキストである。ハイパーリンクというのは、ウェブページで下線の付いたテキストなどをクリックすると別ページへ移動する、あのリンクのことである。

ハイパーテキストでは、ウェブページから別のウェブページにリンクをはったり、ウェブページ内に画像・動画・音声などのデータファイルをリンクで埋め込こんだりすることができる。HTMLには、このハイパーリンク機能に関連する情報同士を結びつけて、情報を整理するという特徴がある。

これらの特徴を理解し、ホームページを作成することにした。^[2]

3. ホームページ作成

3-1. 作成手順について

今回は、まず、ホームページを見てもらいたい対象を決めて、その対象に対して足りないものや見せたいものをピックアップして作成することにした。

高校のホームページを見ている人としては、高校生、保護者、中学生、卒業生などが考えられた。そこで、今回は、中学生を対象を絞り、ホームページを作成することにした。理由は、私たちが大学受験を考えるときにまずホームページで大学の情報を入手しており、中学生のほとんどがスマホなどの情報通信機器をもっているなか、中学生も高校についてホームページで調べることが多いのではないかと考えたからである。

3-2. 参考したホームページについて

まずは、現在の鞍手高校のホームページになにが載っているのかをリストアップした。そこで、何が必要かを考えるために、他の学校（高校や大学を含む）のホームページを見ることにした。

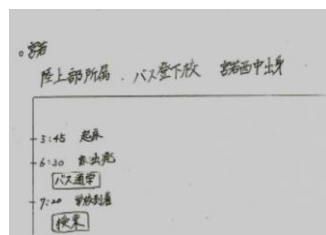
4. ホームページ第1案

ホームページ（第1案）（図1）を作成した。これは、まずは手書きで大まかな内容を示している。特徴は、トップページから載っている内容全体がわかるようにしたことである。内容としては、部活動の練習風景、制服の紹介、食堂の紹介、先輩の一日の生活リズムなどを載せようと考えた。



↑制服紹介

↓一日の生活リズム



5. 考察

作成後に、鞍手高校でネットワークやホームページを管理している中山先生に指導していただいた。

- ・食堂の具体的なコンテンツがほしい。
- ・先輩の一日の生活リズムは大変興味深い。

そこで、これらの指導していただいた点を整理し、

第2案を作成することにした。

①食堂に取材にいき、写真を撮り具体的なページを作成する。

②先輩の一日の生活リズムについてまとめる。

③色使いなどを考えてほかのページもまとめる。

それらを HTML ではなくてパワーポイントでホームページのデザインを重視して、作成することにした。

最終結果

図2は、最終的に作成したホームページのデザインである。①～③を改善し、目的をはっきりさせ、色使いに注意し見易さを重視したデザインを作成することができた。また、これらを中山先生に見ていただいた。



↑パワーポイントでデザインしたページ

今後の課題としては、これらのページを、HTML を用いてホームページ化していくことである。

最終的には、これらのページを鞍手高校のホームページの一部としてアップロードしていきたいと考える。

謝辞

今回このような研究を行う機会を与えてくださった中山先生をはじめ、諸先生方に感謝いたします。ホームページのコンテンツについて考える過程で、デザイン系に進みたい気持ちや教職を目指したい気持ちが高まりました。ありがとうございました。

参考文献

- [1]あきばれホームページ「ホームページとは何か」
<https://www.akibare-hp.jp/points/about/>
- [2]クイックリファレンス「HTML とはなにか」
<http://www.htmq.com/htmlkihon/001.shtml>